

授業科目名 (英文名)	教育原論 (Principles of Education)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	2年次・前期
担当教員	山口 裕毅	所属	環境人間学部
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	<p>本講義では、教育の基本的概念を理解するとともに、教育の理念を歴史や思想の中から理解することを目的とする。その際に、「教育の目的」「教育の内容と方法」「教育の制度と経営」「教師の資質」等、現代の教育を理解するうえで必須の事項と教育の基本的概念や理念との関連についても論究する。</p> <p>本講義の到達目標は、「教育学の諸概念並びに教育の本質及び目標」「子供・教員・家庭・学校など教育を成り立たせる要素とそれらの相互関係」「家族と社会による教育の歴史」「近代教育制度の成立と展開」「歴史的な視点からの現代社会における教育課題」「家庭や子供に関わる教育の思想」「学校や学習に関わる教育の思想」「代表的な教育家の思想」を理解すること、である。</p>		
講義内容・授業計画	<p>本講義では最初に教育の基礎理論を紹介、次いで教育の制度と歴史を概観する。講義の後半部では、現代社会や教育の諸課題について、多文化共生や持続可能な開発目標と教育が関連する課題群に対して検証を加えながら、その問題点や解決の方法を講述する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 本講義の目標や概要を説明する。(テキスト第1章) 2. 人間の発達と教育(発達、発達の最近接領域等) 3. 西洋の教育の歴史と思想 : 古代・中世(テキスト第2章、古代ギリシャ、中世、ルネサンス) 4. 西洋の教育の歴史と思想 : 近代以降(テキスト第2章、近代国民国家と教育制度の成立、新教育運動、ロック、ルソー、ペスタロッチ、フレーベル、ヘルバルト、デューイ) 5. 日本の教育の歴史 : 明治期～昭和初期(テキスト第3章、近代教育制度の成立、対象新教育運動、戦時下の教育) 6. 日本の教育の歴史 : 昭和後期(テキスト第3章、戦後教育改革、教育の現代化運動、教育問題と教育改革) 7. 教育行政と学校の経営組織(テキスト第4章、第9章、教育行政、教育財政、教育経営) 8. 教育の方法と技術(テキスト第5章、学級の実践・原理と教育方法、評価方法) 9. 教育課程(テキスト第8章、教育課程編成、カリキュラム・マネジメント、学習指導要領の改訂骨子) 10. 生徒指導と教育相談(テキスト第6章、生徒指導、構成的グループエンカウンター) 11. キャリア教育(テキスト第7章、学校段階ごとのキャリア教育) 12. 特別活動と道徳教育(テキスト第10章、特別活動の歴史と実践、特別の教科道徳) 13. 教師の職務と専門性(テキスト第8章、教職観の変遷、教職の専門性、初等教育教師の資質) 14. 持続可能な開発目標と教育(MDGs、SDGs、ESD) 15. まとめと評価(到達度の確認) <p>定期試験</p>		
テキスト	中田正浩編著, 2018, 『教育原理 事始め』, 大学教育出版会 .		
参考文献	授業内で紹介します。		
成績評価の基準・方法	<p>成績評価の基準 教育の基本的概念、歴史、思想を理解し、社会や教育の課題群と関連付け、新たな教育のビジョンを表現できる者に単位を授与する。 講義目的・到達目標に記載する能力(知識・技能、思考力、判断力、表現力等)の到達度に応じてSからCまで成績を与える。</p> <p>成績評価の方法 授業中のコメントシート・小レポート: 40%、定期試験: 60%を基準として、受講態度</p>		

	(積極的な質問等)を含めて総合的に評価する。	
履修上の注意・履修要件	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中に指示した宿題や事前・事後学習はもとより、「講義内容・授業計画」に記載したテキスト等の該当箇所などについて、十分な予習・復習をして講義に出席してください。 ・当授業は、原則全ての授業を対面で実施する予定ですが、履修者人数によっては、新型コロナウイルス感染症対策として、履修者を複数の教室に分けて教室間をオンラインで繋ぐ方法や、対面授業と自宅でのオンライン授業を隔週実施する方法と する場合があります。自宅等でオンライン授業の受講を視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)が必要となる場合があります。最終的な授業方法は履修登録後に決定・連絡します。 	方法と
実践的教育	該当しない。	
備考		